

だれでも幸せになれる教えです!!

# ひかり

2022年

8月

204号

- ◇ 儀礼儀式は自覚と覚悟
- ◇ 戒名の意義
- ◇ 正しい信仰の在り方!



一夏涼風



宗教法人 真生会

# 信仰の視野を広げよう

『自分から家族へ、家庭から社会へ』

## 真生会の教えとは！

仏さまの智慧とものの見方を身に付け、自分の運命を変え、在家の法華経教団です。宗旨宗派は問いません。どなたでも安心してお越し下さい。

### ◇慈悲の世界「真生楽園建設」

- ・ぬくもりと安心のある家庭と社会を作る
- ・思いやりと親切の実践

### ◇即身成仏「輝く自分作り」

- ・ありのままに輝く自分自身になる
- ・笑顔と明るい声かけの実践

### ◇幸福の五ヶ条

- 一、素直な心：（おかげさま）
- 二、誠の心：（まず人さま）
- 三、明るい心：（きつとよくなる）
- 四、尊ぶ心：（仏性を拝む）
- 五、信じる心：（皆、仏の子）

## 秋季彼岸先祖大法要にご参拝ください！

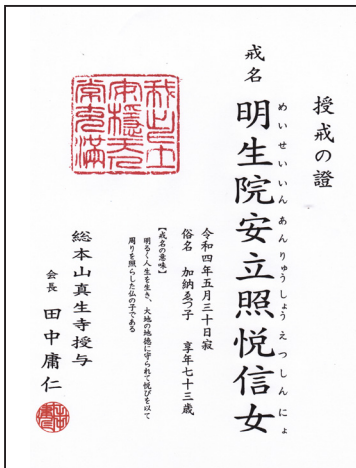
コロナ感染症第7波が広がっていますが、手指消毒、マスク、換気対策をしてお参拝をお待ち致します！  
この世の中はご縁の世界です。過剰に恐れたり萎縮せず、基本対策に各自でも留意し、仏縁良縁には積極的に参加しましょう！！

総本山真生寺 9月18日(日) 10時～12時  
大阪教会 9月18日(日) 10時～12時  
名古屋教会 9月19日(月) 10時～12時  
名古屋教会は会長先生がご巡教されます！



### 故人の先祖供養は「戒名」でご回向！

昨今の世相を鑑み、真生会では先祖大法要における先祖供養は、故人の速やかなる成仏を願う「戒名」でご供養することに致しました。できるだけ戒名でお申込み下さい。戒名の分からない方、戒名のない方は総本山真生寺より品位ある戒名をお授けし、左記の「授戒の證」を交付致します。



交付される「授戒の證」

## お盆先祖大法要、胡蝶忌、土用修行奉修



会長先生のご真教法話

七月十七、十八日総本山、大阪教会、名古屋教会でお盆先祖大法要、教母さま胡蝶忌法要が厳修された。真生寺では安倍元総理の逝去を悼み半旗が掲げられ、厳かに式典が営まれた。土用修行の三部経読誦は会長先生によるライブが配信された。



参拝者焼香



子供奉献の儀



半旗掲揚



大阪教会、お盆先祖大法要



土用修行ライブ配信



# 開祖さまのみ教え

開祖 田中偉仁  
たなか ひと

カトリック教徒であるヨーロッパのエリート達が日本文化の素晴らしさと仏教、特に法華經の広大なる考え方に感動し、仏教徒に変わりつつあると聞く。戦後五十年（今年は七十七年）の間に日本の家族制度の美点、日本建築・日本食などの良さを本家本元である日本人の私達が見失い捨ててしまっています。そして、これがさも「近代国家なり」ととぼけた感覚で、挨拶一つできない、体格はよくなったが根性のない若者を育ててしまったのではないのでしょうか。オリンピックで金メダルを取り、表彰台に上がる選手を称え、国旗を掲揚し国家を奏でる瞬間は誰でも感動を覚えるでしょう。しかし、平素日の丸を掲げたり、君が代を歌うことすら忘れてしまつて、そんな時だけ日の丸だの君が代では滑稽としか言いようがない。平素から日本のすばらしさ、わが家庭の良さ、わが親の尊さを確認してこそ、他国からも認められ尊敬される姿ではないのでしょうか。

（1996年、真実に生きるひかり101号より）

# ぶし眞教法話

会長 田中 庸仁  
たなか つねひと



◇儀礼儀式は自覚と覚悟

仏教の大切な教えの一つは「中道実践ちゅうどうじっせん」です。何事も「過ぎたるは及ばざるが如し」の格言のように、偏り過ぎかたよたり、頑張り過ぎがんばたり、無理し過ぎたり、やり過ぎたり、消極的過ぎたり、おとなし過ぎたり、はしやぎ過ぎたり、つまり極端な考え方や行動を戒いましめています。

安倍元総理の「国葬」の是非が話題になっていますが、最近の世相を見るに儀礼儀式の大切さが非常に軽んじられています。合理主義、個人主義が行き過ぎ、守らなければならぬ歴史や文化や伝統、人とのつながり、義理人情が無用の長物の如く切り捨てられるのは由々しきことであり、将来の日本社会や人間関係の在り方が大きく歪ゆがむ心配があります。



特に近年お葬式の在り方が大きく変化し、「費用や準備が大変で面倒だ」「香典返しが面倒だ」「家族の知らない人が多く来て弔問の対応が面倒だ」などと様々な理由で家族葬が流行りだし、無宗教でお坊さんも呼ばずお経も上げない、延いては簡素が行き過ぎた「直葬」が如くは、病院から火葬場へ直送し、故人の人間性も品格も人生の歴史も無視するような葬儀が増えてきたことは残念なことです。

「大変」とは大きく変わる時です。

喪主として葬儀を取り仕切り、お礼の挨拶をすることによって「当主が代替わりする自覚と覚悟」ができ、社会からも後継者として認知されるのです。

#### ◇戒名の意義

戒名は「成仏するための大切な名前です」亡き親やご先祖の成仏無くして子孫の繁栄はありません。お坊さんも呼ばずお経も上げず、もちろんお坊さんと呼ばないのだから、戒名もなく「名無しの権平」で霊界に赴く魂は、一体どうなるのでしょうか。

こんな嘆かわしい世相を鑑み、真生会では宗旨宗派にかかわらず、故人の人生を称え、安らかなる成仏のために院号道号法号位号のそろった「品位ある戒名」

をどなたにでも授与し、故人の安らかなる成仏をお祈りさせて頂きます。詳しくは総本山、各教会にお尋ねください。

次に結婚式も同様です。結婚式の形態も大きく様変わりしてきました。

結婚式の仲人なこうどは、ほとんど見られなくなりました。もちろん、その時だけ形だけの頼まれ仲人は、その役割を終えたのでしよう。若者たちは「仲人」という言葉さえも知らないかもしれません。

しかし、神仏の前、家族や親戚や友人の前で、結婚を宣言し披露することによって世間からも認知され、夫婦としての自覚と責任が芽生え、一生を添い遂げて良い家庭を作ろうという「覚悟」ができるのです。お披露目もお誓いもせず、入籍だけをすると何となく始まった結婚生活がうまくいくはずはありません。簡単に離婚するのは、式も挙げず披露宴もせず、大勢の人の祝福の前で誓ったという責任感や覚悟の欠如があるからです。

かつて師匠から「結婚式の写真は大切だよ」と教えられました。長い結婚生活の間には、夫婦喧嘩や離婚の危機もあるだろう。そんな時、結婚式の写真を見るとこんな幸せな時もあったなあ！多くの人に祝ってもらったなあ！幸せになろうと誓った



なあ」と原点に気付くことができるものだと思われました。

そして、自分たちの子供が大きく育った時、両親の結婚式の写真が見たい時が来ます。その時に見せる写真がなかったら子供たちはがっかりします。

将来の子供たちの楽しみを潰さないためにも写真は撮っておくべきです。

入学式、卒業式、成人式、入社式など人生の節目には色々な儀式儀礼があります。やり方は時代により地域により変わって来ますが、服装や身なりを整え、厳粛な気持ちで参加してこそ、さあ頑張るぞという自覚と覚悟が湧いてくるのです。「親しき中にも礼儀あり」の深い意味を再確認しましょう！

### ◇正しい信仰の在り方！

旧統一教会の問題により、本物の宗教、本当の信仰の在り方が問われています。「宗教はアヘン（麻薬）なり」という言葉もありますが、信仰のやり方を間違えると山上容疑者の家庭のように崩壊してしまいます。社会から見ればまさに「宗教はアヘン」であり、すべてを狂わせてしまうのです。

せつかく子供や家族の幸せのために始めた信仰によって子供がダメになったり、家族が不幸になってしまつては本末転倒ほんまつてんとうです。これは指導者にも大きな責任がありま

す。

真生会は「子供の良くなる教え」です。「子供に強制して良くする」のではなく、親の実践する姿を見て親を尊敬し、自然に親孝行の良い子どもに育つのです。

宗教の「宗」とは「家冠に示す」つまり家の中で実践して示すのが宗教です。何を示すのか、「教」とは「孝を文に書く」つまり親に安心を与える、親に喜んでもらえる親孝行を実践して示すのが「宗教の本質」です。

「法施、身施、財施」の徳積みは大切なことですが「炊事、掃除、洗濯」の家事を放つたらかしにして家を留守にし、家庭が崩壊するような財施(献金)の仕方は、偏った極端な信仰であり、教えない家族や一般社会から見ればこれを「カルト信仰」というのです。

しかし、信仰は趣味や片手間仕事ではありません。自分や家族の人生と運命を変えろという大事業なのです。「一心欲見仏いっしんよくけんぶつ、不自惜身命ふじしやくしんみんみょう」熱心でなければ「因縁の切り替えや不徳の穴埋め」はできません。家事や子育てや仕事を六割七割こなしで時間を作り出し、教会道場に足を運び、教えを学ぶ熱心な精進があつてこそ幸せがつかめるのです。

だからこそ、積善の徳積みやお参りをおろそかにしては、いざという時  
仏さまのご守護は頂けません。月初めの一日法座や日曜法座には必ずお参りし  
て仏縁法縁を深め、「因縁切り替えや徳積み」の実践方法を学び、師の添削を受け、  
仏さまのご守護を頂く信仰基盤を築きましょう。

法座や法要行事に参加する時は、ギリギリであつたり遅刻をしないように心がけ、  
心と時間に余裕をもつて参拝しましょう。

特にご法を伝える法施、奉仕やお役当番の身施、例月供養や先祖供養の財施の  
功德は、「まさかの時、非常時」に現れます。

常にご法の徳を積み続けている人は、人生に粘りがあるのです。病気になつても、  
事故にあつても一遍には死に至りません。乗り越える力があるのです。

ご法のごことは娑婆の用事やお金儲けのための仕事とは大いに違います。平素やる  
べき家事や仕事をしっかり実践し、家族や社会から信頼された上でお参りの時は全  
力を集中するというメリハリと情熱ある信仰をしてこそ大きな問題や悩み事が解  
決するのです。真生会会員の皆様、読者の皆様、正しい信仰、正しい実践のお手  
本になるよう努力精進お願い致します！

# 釈尊物語

②4

## ◆◆在家信者の修行の在り方◆◆

十大弟子にアヌルッダ（阿那律<sup>あなりつ</sup>）がいます。彼には未亡人の母とマハーナーマという兄がいた。兄弟のどちらかが家と母を守り、どちらかが出家しようということになり、兄が残ることになった。

阿那律は出家者となり修行を積み、天眼第一の大弟子となり、兄は在家者として生業を営み、機会あるたびに釈尊の教えを熱心に聞き、在家の良き仏教者として生涯を終えた。

ある時、マハーナーマは釈尊に尋ねました。

「大徳よ、私は長い間世尊の法を学び、ようやく教えの主旨を理解できるようにになりましたが、時として貪り・瞋り・愚痴の三毒が湧き、心を占領してしまう時があります、どうしてでしょうか？」

釈尊の答えは明快でした。

「それは、あなたが出家せず家にいるからである。出家しなければ欲望を完全に離れきることはできないからである」

「大徳よ、では在家修行者とは、如何なるものなのでしょうか。どのようにすれば良いのでしょうか？」

「マハーナーマよ、仏に帰依し、法に帰依し、僧に帰依することによって、真の在家仏教者となれるのです。」

欲望渦巻く俗世のただ中にあっても、

よく三宝に帰依することによって、法の流れの中に入ることができる。それが在家の仏教者というものである」

「大徳よ、もし世俗の日常生活の中で、事故や災難に合った時、一瞬仏を忘れ、法を忘れ、僧を忘れてしまうこともありえます。そんな状態で、命を終わるようなことがあつたら、私はいずれの所に趣き、いかなる生を受けるのでしょうか」

「マハーナーマよ、恐れることはない。心配することはない。あなたに悪しき死、悪しき来世は決してないであろう」

釈尊は譬えをもつて説かれた。

「マハーナーマよ、ここに一本の樹があるとする。その樹は東に向かい、東に傾き、東に枝を張っていたとするならば、

誰かがその樹を切った時は、一体どちらの方向に倒れるであろう」

「大徳よ、その樹は東に倒れるのほかにありません」

「それと同じように、在家に会っても常に仏を敬うこと、法を敬うこと、僧を敬うことを第一優先にしていれば、病いや災難に倒れ命終わる時が来ても、必ずや善き所に趣き、善き生を受けるであろう」

※私たちが在家の仏教者も常に三宝を敬い、毎日お経をあげ、教えに沿う行動を心掛け、心の重心が仏の方に傾いていれば、何事があつても仏の世界に入り、仏さまの慈悲とご守護に与れるのです。

# 今月の運勢（9月）

（2022年9月8日～10月7日）

## 一 白水星

これまで親しくしていなかった人たちに助けられるが、様子を見て遅れて来る人とは安易に付き合わないこと。

人間関係はタイミングが大切。手を差し伸べるべき時は迷わず速やかに駆けつけること。

## 二 黒土星

枯れ木に花を咲かせ、無になったものを復活させる力がある。散ったものが元に戻り、去った人を許せば仲間を連れて戻って来る。何もかも元通りになる強い運氣がある。積極的に行動するとよい。

## 三 碧木星

運氣は最高潮。お互いの立場と役割を自覚し

長所を発揮すること。変化しながらも継続性

一貫性があれば何事もうまくいく。動機が正しくても途中で止めたらずべては凶となる。

## 四 緑木星

大きく羽ばたいてきた羽を休め、一転英気を養おう。八方塞がりなので大きな事に挑戦したり、新たな事業を興す時ではない。周囲の状況を見極め、計画を練り直す好機。

## 五 黄土星

新しいことを始めるよりも、今日までの働きを完成させ結果を出す

時。何事もスピード感を持って進めることが

大切。良き先輩や実力者に近づけば助言と協力が得られる。

## 六 白金星

実行すれば結果が得られる。強引に行うのではなく悦びを以て柔和に進めることが肝要。上下がそれぞれの分をわきまえ進めば、万が一の異常事態も案ずることはない。

## 七 赤金星

何事も計算通りにはいかぬもの。感動し意気に感じてこそうまくいく。動機が正しく無我無心で行えば願いは必ず通る。私情や私心を

を交えると後から咎めを受けることになる。

## 八 白土星

脚光を浴び見栄えはいいが、過信してはいけない。社会はルールによって成り立っているので勢いに任せず秩序を保って行うことが大切。小さなことを行うには良いが大きな事に乗り出す時ではない。

## 九 紫火星

今一步という未完成の状態だが未来に希望がある。困難はあるが一筋の光明を信じて進もう。諦めずに進むなら必ず願ひ事は叶う。人間関係を大切にし先祖供養を忘れないこと。

## 「まごころ誌代」御礼

長尾夏芳里	村上視佑記	松本裕樹	田中庸仁	横井志奈子
小村友子	宮島りえ	福元正子	田中佑季子	滝本光夫
松下祐侑香	笹原トミ子	河合健司	田中光隆	岸本昌子
今園花菜	笹原正子	河合愛実	田中理夏子	四日市某
林田哲嘉	平口富子	河合詩遠	亀井善広	東森弘和
樋口恵美子	今井龍廣	河合里紗	亀井由実子	土川順寛
樋口容子	松下若葉	河合央真	田中啓予	土川恭代
滝山恵依子	三村南央斗	松尾定洋	田中宏明	土川康二
出田 梓	某女	豊田直正	田中花音	土川廣美
荒木敬依子	正木みつ子	豊田真悠子	足立和美	横山知津子
大下裕子	細谷早予子	水田祐記子	早野桂子	半澤照子
永田雅子	長尾かれん	澤 君美	早野起世	佐藤百々枝
谷口祐晟	浅井佑季子	澤 芳子	高橋身衣	佐藤光洋
谷口祐子	今井純司	加納悠貴	加納啓至	木村正美
石丸祐視子	奥田有加	加納宏樹	多田佳央	伊東 晃
片桐淳子	斎藤玲子	加納快志斗	宮田雄貴	安田初子
坪井祥子	京川春男	亀井善二	横山侑可	山本季美衣
堀田純子	鈴木正巳	大橋末子	堀部恭利	増田恵視子
坂本育身	松本真由美	多田祥子	横井富男	桑原聖子

★皆様の『まごころ次第』献金のご協力によって継続発刊しています。  
紙面をもつて感謝申し上げます。(敬称略・順不同)

### 《入会のご案内》

真生会は、個人の心の勉強と実践を目的とする個人会員制です。各家の宗旨宗派はご自由です。詳しくは総本山真生寺、各教会にお尋ね下さい。

☆会員会費 500円/月

発行所 宗教法人 真生会 総本山真生寺  
〒501-1105 岐阜市彦坂178番地  
TEL 058(235)7304

発行人 会長 田中庸仁

振込先 三菱UFJ銀行 岐阜支店  
普通口座 3715509

名義 宗教法人真生会 代表役員 田中庸仁



## しあわせ眼鏡

夢のない人生は暗い  
誰でも夢はある  
夢はなくならない  
しかし、目の前の  
執着という指一本で  
何も見えなくなってしまう  
執着という指をのければ  
夢はまた見えてくる

お気軽にご連絡ご相談下さい

- |          |           |  |
|----------|-----------|--|
| 【総本山真生寺】 | 〒501-1105 | 岐阜市彦坂 178 番地<br>T E L 058 - 235 - 7304       |
| 【岐阜教会】   | 〒500-8882 | 岐阜市西野町 3 - 19<br>T E L 058 - 262 - 9615      |
| 【大阪教会】   | 〒532-0028 | 大阪市淀川区十三元今里 3-4-10<br>T E L 06 - 6308 - 5637 |
| 【名古屋教会】  | 〒454-0808 | 名古屋市中川区九重町 3 - 10<br>T E L 052 - 351 - 3904  |

上記の教会にお申込み下さい。必要な冊数を毎月お送りします。詳しくはお尋ねください。